

北海道の「家」

大雪と屋根の ガイドブック

近年、道内各地で記録的大雪にみまわれ、雪下ろし中の事故が多く発生し、
死亡事故にもつながっています。
また、積もった雪により屋根が破損したり、雨漏りなどの障害も多く発生しています。

この冊子は、大雪が降っても、
快適で、安心できる暮らしを守るための
知ってて得するガイドブックです

「屋根の雪下ろし」は、
ほんとに必要なのですか。
(住宅の屋根はどこまで
耐えられますか)

こんな疑問に
お答えします

北海道の
住宅の屋根は
「滑りやすい」って
本当ですか。

降り積もった雪により、
屋根はどの程度
傷みますか。

屋根の雪下ろしを
するとき、
気を付けることは何。

北海道の家の屋根を
長〜く維持するため、
どのようなメンテナンスが
必要ですか。

「屋根の雪下ろし」は ほんとうに必要なのですか

—住宅の屋根は、どこまで耐えられますか—

◎毎年、屋根の雪下ろしをされている方、その雪下ろしは、ほんとうに必要なのですか。

◎屋根の雪下ろしをすべきかどうか迷っている方、どうなれば、雪下ろしをした方がいいのでしょうか。

- 適切に設計された住宅は、市町村ごとに定められている「垂直積雪量 (cm)」の荷重に耐えられるような構造で建てられています。
 - ・ 例えば、札幌市は 140cm (定山溪など一部地域は 190cm)、旭川市 130cm (江丹別地区 190cm)、釧路市 70cm (阿寒地区 100cm) など



- したがって、まずは、お住まいの市町村が定める「垂直積雪量 (cm)」を目安に、屋根の雪下ろしが必要かどうか考えましょう。
- 建物によっては、屋根構造が「垂直積雪量 (cm)」に適切に対応していない場合がありますので、屋根の雪下ろしが必要かどうかは実態に応じてご判断ください。

次の場合は 対策が必要

- 家の中のドア、ふすま、とびら等がスムーズに開かなくなったとき
- 大きな雪庇^{せっぴ}ができ、突然落ちて人や物に危害を加える恐れがあるとき
- 軒先が破損したり、すがもり等が発生してしまったとき

※「すがもり」とは、屋根や軒先に積もった雪が溶けたり凍ったりを繰り返し、屋根材の隙間から室内へ水漏れが起こること

- その他



? 降り積もった雪により、 屋根はどの程度傷みますか

—雪による屋根の損傷・損害事例—

雪下ろし作業による損傷

屋根の雪下ろしの際に、誤ってアルミや鉄のスコップの角が当たったり、氷になったところをつるはしなどで割る際に、誤って板金に穴をあけてしまうことがよくあります。



ハゼのゆるみ

屋根に積もった雪が、日射や建物の熱により溶けて氷の状態となり、その氷が動くことによって、板金屋根のハゼがゆるみ、このように破損した状態となります。



配管の凍結

冬の水道管の凍結と同じように、屋根から流れる水の管が凍結し、水が流れなくなり、屋根に溶けた水がたまってしまいます。この写真は、氷を溶かし水を抜いている修理工事の模様です。



雪による軒先の折れ曲がり

屋根上部からの落雪や、春先の湿った重い雪が落ちずに荷重がかかる場合のほか、すがもり等により内部の木材が腐食することなどにより、軒先が破損することがあります。



屋根の雪下ろしの知識

除雪のコツ教えます

北海道発！除雪でけがをせず冬を安全で健康に暮らすための情報サイト



ウィンターライフ推進協議会

除雪の こんなときが危ない



除雪は事故を伴うことがあります。どんな時に事故が起きやすいか知っていますか？

- 除雪の危ないシーン
- 北海道の除雪事故

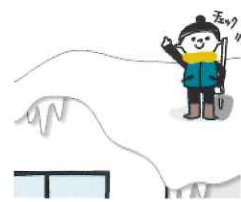
雪かきのコツ



雪かきのコツを知ることによって、もっと安全に、もっと効率的に作業ができます。

- 雪かき 10 箇条
- 雪かき道具を使いこなす
- 雪かきのしかた徹底研究
- 除雪便利グッズ

雪下ろしのコツ



除雪事故でもっとも多いのが屋根の雪下ろしに伴う事故です。

- 雪下ろしの注意点
- 雪下ろしの装備
- 雪下ろしのしかた徹底研究
- 雪下ろしのタイミング

住宅建築技術資料

北の住まいハンドブック (PDF、60MB)

北海道立総合研究機構 建築研究本部 北方建築総合研究所



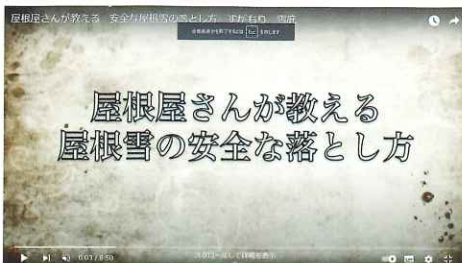
- 1-1 敷地内の雪処理～除雪負担量から考える雪処理計画～
- 1-2 敷地内の雪処理～融雪設備～
- 2-1 屋根工法と雪処理～滑雪屋根材～
- 2-2 屋根工法と雪処理～非滑雪屋根材～
- 2-3 屋根工法と雪処理～M型屋根・フラット屋根～
- 2-4 屋根工法と雪処理～雪庇対策～



屋根屋さんが教える安全な屋根雪のおろし方

北海道板金工業組合札幌支部
理事 樋口 健人 氏

安全な屋根雪の落とし方 すがもり 雪庇



北国特有のすがもりのメカニズム屋根診断



北海道の住宅の屋根は「滑りやすい」って本当ですか。

—まずは知っておくべきこと—

- 北海道の住宅の屋根材は**たいへん滑りやすい**こと
- 特に傾斜のある屋根の雪下ろしは、**高度な知識と技術が必要**であること
- 雪下ろし中に**屋根材を傷つけ**、雨漏りやすがもりなどの発生原因となることが多いこと
- 道内において、雪害による死亡事故のうち、「屋根からの転落」など屋根雪に絡む事故が半数以上を占めていること

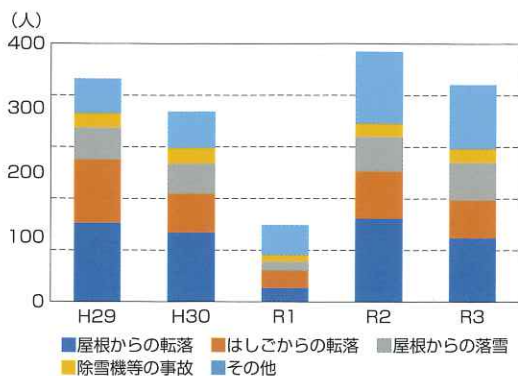


事故を防ぐため

屋根の雪下ろしは、命を守るため・住宅を守るため
住宅建築・屋根の専門業者さんへの依頼が基本

雪害による死傷者数の推移

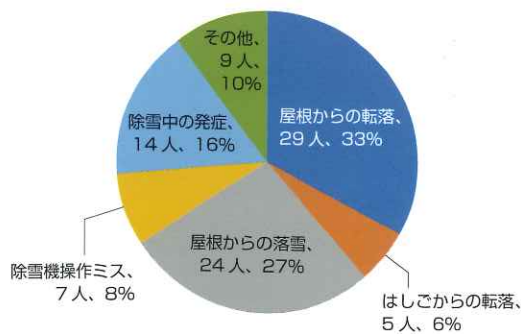
道内における雪による被害は、過去5年間で年間約300件発生しており、そのうち「屋根やはしごからの転落」が半数以上を占め、次いで「屋根からの落雪によるもの」となっています。



(データ：北海道調べ)

雪害による死亡事故の原因

道内の雪害により、過去5年間で88名の方がなくなっており、そのうち死亡事故の9割以上は除雪に伴うもので、そのうちの約3割が「屋根からの転落」となっています。



(データ：北海道調べ)



屋根のメンテナンスと留意事項

メンテナンスの目安

- 北海道に多い板金屋根は、10～15年経過したら、そろそろ塗装を考える時期です。

- ①手で触ると手に白い粉がつく
- ②塗装が持ち上がり膨れる
- ③表面に白く点々が発生

塗装塗り替え時期

- 一般的なメンテナンスをしていれば、通常、屋根は25～35年で屋根の交換(葺替え)時期となります。

- ④表面に赤錆が発生
- ⑤前面に赤錆が発生
- ⑥鉄板に穴が空く

屋根交換(葺替え)時期

メンテナンスにあたっての留意事項

- 屋根の材質により雪のすべりやすさが違います。

屋根に詳しい建築専門業者とよく相談しましょう。

- 屋根に関する訪問販売には気をつけましょう。**

とくに「保険で屋根が直ります。」「保険で塗装ができます。」

「保険で雨漏りが直ります。」といった言葉には要注意！

- 塗装する際は、必ず、専門業者に**点検**してもらい、
修繕すべき箇所は**修繕**し、そのうえで**塗装**するようにしましょう。

- 信頼できる業者選びに心がけましょう。

・「**北海道住宅リフォーム事業者登録制度**」に登録している**事業者**のうち、屋根に詳しい事業者

・ドローン空撮など屋根の点検・診断を実施している**屋根専門業者** など

制作・発行

北海道住宅リフォーム推進協議会

WWW.h-reformkyo.net

協力

北海道立総合研究機構建築研究本部
有限会社樋口板金



事務局

一般社団法人北海道建築技術協会

〒060-0042

札幌市中央区大通西5丁目大五ビル

TEL (011) 251-2794 FAX (011) 251-2800

